

at-220SR(N)/NB384Aユーザー様

2004年4月1日
株式会社日立コミュニケーションテクノロジー
ネットワーク第二営業部
オーディオ・ロッキングテクノロジー株式会社

at-220SR/SRN及びNB-384Aオーバーホールの件

平素、各別なる御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

「at-220SR」「at-220SRN」「NB-384A」の
オーバーホールについて弊社対応についてご解答申し上げます。

記

1. メーカーとしてどこまでオーバーホールとしての処理をできるのか？

修理対応期間は下記の通りです。

- (1) at-220SRN : 2006年9月末
- (2) NB-384A : 2011年3月末(予定)

本期間内であれば、基本的にオーバーホールの対応が可能です。

但し、修理およびオーバーホール対応のため、保守部品を最終発注により確保しておりますが、今後の障害・オーバーホール発生状況や製造元メーカーの状況により、部品供給が出来なく可能性があります。

その場合は、対応期間内であっても、修理・オーバーホールの対応が不可となる場合がございますのでご了承下さい。

対応期間内に対応不可能が生じた場合は、御社宛て書面にてご連絡申し上げます。

修理対応期間以降について

修理対応期間以降については、最終発注により確保した部品を一旦廃棄し、オーバーホール対象部品を新規に発注し、部品メーカーが供給可能な場合にのみ対応とさせていただきます。

そのため、オーバーホールを御依頼の前に、個別にお問合わせいただきたく、宜しく願い申し上げます。

2. またその場合の期間及び費用はどのくらいか？

(1) 期間および費用は正式には、別途個別見積書にてご解答申し上げます。

お客様・原品状況により、別途御見積依頼をお願いします。

(2) 費用の概算

下記の通りとなります(最大費用で算出)。

1) a t - 2 2 0 S R / S R N : 3 4 0 . 0 K ¥ / 台

2) N B - 3 8 4 A : 2 4 0 . 0 K ¥ / 台

3) 納 期 : 製品引取り後、約4ヵ月

ご発注いただいた後、部品手配のみ先行して行い、部品入手後、製品を引き取るなどの方法によっては、期間の短縮は可能と考えます。

弊社部品在庫・製造部品メーカ等の状況により、部品集約に時間がかかる場合がございますのでご了承下さい。

見積条件としては、以下の通りです。

(1) 本見積金額に消費税等は含みません。

(2) オーバーホール内容は下記によります。

電源交換 寿命部品交換(電解コンデンサ・電池) 再検査

(3) 修理対応年数に変更はございません。ご注意下さい。

注意: オーバーホールを実施しても、当初の修理対応年数に変更はございません。

(4) 対象以外のその他、機能確認について

修理・オーバーホール依頼後、故障箇所が検出された場合は、その修理費用は別途御見積りの上、有償にて承ります。

ご説明不足のところがありましたら、ご連絡願います。